



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東急レクリエーション
コード番号 9631 URL <http://www.tokyu-rec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 仁

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 堀江 真二郎

TEL 03-3462-8870

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	7,139	6.3	204	—	158	—	160	377.6
24年12月期第1四半期	6,718	7.9	△25	—	△45	—	33	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 807百万円 (471.8%) 24年12月期第1四半期 141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	5.46	—
24年12月期第1四半期	1.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	42,741	20,558	48.1
24年12月期	43,067	19,840	46.1

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 20,558百万円 24年12月期 19,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,368	3.4	143	△13.8	75	△40.5	55	△54.3	1.89
通期	30,876	△1.6	719	△27.6	576	△33.6	307	75.2	10.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	31,937,474 株	24年12月期	31,937,474 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年12月期1Q	2,575,172 株	24年12月期	2,574,312 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	29,362,473 株	24年12月期1Q	29,367,542 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策、金融政策の効果などを背景に円安・株高が進行し、企業収益が改善するなど景気は持ち直しの傾向が見られたものの、世界経済の下振れ懸念が残るなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、主幹事業である映像事業、スポーツ・レジャー事業、不動産事業の各事業において、積極的な営業活動を行うとともに、徹底したコスト管理を実施し、収益構造の改善に全社を挙げて取り組み、強固な経営基盤の構築をはかってまいりました。

この結果、売上高は7,139百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は204百万円(前年同期は25百万円の営業損失)、経常利益は158百万円(前年同期は45百万円の経常損失)となり、四半期純利益は160百万円(前年同期比377.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像事業

映画興行事業におきましては、各シネマコンプレックスのニーズに合わせた番組編成を行うとともに、映画入場収入以外の付帯収入の獲得に努め、効率的な運営と徹底したコスト管理による収益力向上をはかってまいりました。

上映作品といたしまして、邦画では「プラチナデータ」「ストロベリーナイト」「相棒シリーズ X DAY」、アニメーション作品では「ドラえもん のび太のひみつ道具博物館(ミュージアム)」「シュガー・ラッシュ」、洋画では「レ・ミゼラブル」「テッド」をはじめ、「ライフ・オブ・パイ／トラと漂流した227日(IMAX®3D版)」「ダイ・ハード ラスト・デイ(IMAX®版)」などを上映し、好評を博しました。

映像関連事業におきましては、2月に開催された「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2013」の開催にあたり、当社のノウハウを活かした企画協力・運營業務を受託し、地域における映像文化の発信に努めてまいりました。

この結果、売上高は3,484百万円(前年同期比16.7%増)となり、営業利益は43百万円(前年同期は140百万円の営業損失)となりました。

② スポーツ・レジャー事業

ボウリング・フットサルの両事業におきましては、各事業所において、快適な施設の運営に努めるとともに、地域特性を活かした販促活動を強化し、顧客満足度の一層の向上をはかってまいりました。新規開発物件といたしましては、3月にフットボールコミュニティチェーン10店舗目として「スポーツコミュニティ市川浦安」(千葉県市川市)を開業いたしました。

コンビニエンス事業におきましては、都心に展開する各店舗において、プライベートブランド商品、季節型商材の積極的な販促並びに効率的な店舗運営に努め、収益の拡大をはかってまいりました。

飲食事業におきましては、「食彩健美 野の葡萄」「モスバーガー」の各店舗にて充実したメニューを揃えるとともに、きめ細やかなサービスや施設のクレンリネスの徹底などを心掛け、清潔で快適な店舗運営を推進してまいりました。

この結果、売上高は1,262百万円(前年同期比0.9%増)となり、営業利益は20百万円(前年同期比33.0%減)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業におきましては、当社直営ビル及びマスターリースビルの双方において、テナント企業からの賃料見直しや退去及び近隣ビル間のテナント誘致競争の激化により賃料は下落傾向となるなど、引き続き大変厳しい事業環境となりましたが、新たなテナント獲得に努めて、安定収益の確保をはかってまいりました。新規開発物件といたしましては、3月につくばエクスプレス三郷中央駅前の「三郷中央駅前ビル」(埼玉県三郷市)を新たに稼働いたしました。

ホテル事業におきましては、業界全体で客室単価の値下げによる低価格競争が依然として続く厳しい事業環境のもと、宿泊主体型の「ホテル東急ビズフォート広島」(広島市中区)並びに「熊本東急イン」(熊本市中央区)において、インターネットを利用した宣伝活動や満足度の高い宿泊パック等を提供するなど、顧客の獲得をはかり、客室単価及び稼働率維持に努めてまいりました。

この結果、売上高は2,059百万円(前年同期比0.9%減)となりましたが、管理運営コストの削減等をはかり、効率的なビル運営に努めたことにより、営業利益は355百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

④ その他

ビル管理事業におきましては、オフィスビルを中心にビルメンテナンス・安全管理における高いニーズに応えるとともに、クオリティーの高い技術力とサービスの提供に努めてまいりました。

アミューズメント事業におきましては、都心に展開しているゲームセンター「G-R E C' S」での快適な店舗の運営に努めてまいりました。

ランキン事業におきましては、3月に東武北千住駅構内に「ランキンランキン北千住店」(足立区千住旭町)を出店するなど、ブランドの価値向上をはかりながら、話題の商品・情報を提供していくとともに、安定した収益基盤の構築に努めてまいりました。

しかしながら、「ランキンランキン渋谷店」が1月に閉鎖したことから、売上高は332百万円(前年同期比17.4%減)となり、営業利益は14百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ326百万円減少し、42,741百万円となりました。これは主に有形固定資産が132百万円、投資有価証券が1,005百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,180百万円、繰延税金資産が317百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,044百万円減少し、22,183百万円となりました。これは主に買掛金が881百万円、未払法人税等223百万円が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ718百万円増加し、20,558百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が646百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,306	928,589
受取手形及び売掛金	2,101,437	921,283
商品	183,124	151,965
貯蔵品	63,914	59,489
繰延税金資産	91,427	70,065
その他	3,336,778	3,324,630
貸倒引当金	△1,532	△731
流動資産合計	6,747,457	5,455,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,556,462	9,381,739
土地	9,793,011	10,120,812
その他(純額)	1,601,541	1,580,653
有形固定資産合計	20,951,015	21,083,205
無形固定資産		
投資その他の資産	1,047,556	1,081,237
投資有価証券	2,871,541	3,876,695
差入保証金	9,342,931	9,450,006
繰延税金資産	407,502	111,527
その他	1,699,987	1,683,880
投資その他の資産合計	14,321,962	15,122,109
固定資産合計	36,320,534	37,286,553
資産合計	43,067,991	42,741,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,739,898	1,858,172
短期借入金	1,500,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	620,606	620,659
未払法人税等	274,866	51,463
引当金	57,649	102,144
その他	2,399,114	2,220,246
流動負債合計	7,592,135	6,452,687
固定負債		
長期借入金	1,675,564	1,670,379
再評価に係る繰延税金負債	2,581,782	2,581,782
退職給付引当金	288,236	299,202
資産除去債務	1,363,149	1,365,889
受入保証金	6,931,754	7,055,598
その他	2,795,294	2,757,595
固定負債合計	15,635,781	15,730,447
負債合計	23,227,916	22,183,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,028,813	7,028,813
資本剰余金	7,061,184	7,061,184
利益剰余金	2,587,475	2,659,572
自己株式	△1,381,488	△1,381,896
株主資本合計	15,295,985	15,367,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,220	782,169
土地再評価差額金	4,408,869	4,408,869
その他の包括利益累計額合計	4,544,089	5,191,038
純資産合計	19,840,075	20,558,712
負債純資産合計	43,067,991	42,741,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	6,718,542	7,139,428
売上原価	6,516,061	6,691,581
売上総利益	202,480	447,847
販売費及び一般管理費	228,346	243,667
営業利益又は営業損失(△)	△25,865	204,179
営業外収益		
受取利息	7,180	5,781
補助金収入	21,070	—
償却債権取立益	9,347	4,032
その他	2,983	1,430
営業外収益合計	40,581	11,244
営業外費用		
支払利息	52,440	45,080
持分法による投資損失	3,976	6,112
その他	3,532	5,725
営業外費用合計	59,949	56,917
経常利益又は経常損失(△)	△45,233	158,506
特別利益		
投資有価証券売却益	69,999	—
退店補償金収入	54,518	—
その他	426	—
特別利益合計	124,944	—
特別損失		
固定資産売却損	163	43
固定資産除却損	2,595	409
店舗閉鎖損失	5,980	—
支払補償金	25,000	—
特別損失合計	33,739	453
税金等調整前四半期純利益	45,971	158,053
法人税等	12,429	△2,132
少数株主損益調整前四半期純利益	33,542	160,186
四半期純利益	33,542	160,186

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,542	160,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,620	646,948
その他の包括利益合計	107,620	646,948
四半期包括利益	141,162	807,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,162	807,135
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	映像事業	スポーツ・ レジャー事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,986,830	1,250,914	2,078,930	6,316,676	401,865	6,718,542	—	6,718,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14,599	14,599	226,311	240,910	△240,910	—
計	2,986,830	1,250,914	2,093,530	6,331,275	628,176	6,959,452	△240,910	6,718,542
セグメント利益 又は損失(△)	△140,764	31,090	286,244	176,570	24,992	201,563	△227,429	△25,865

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業、アミューズメント事業、ランキン事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△227,429千円には、セグメント間取引消去9千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△227,439千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の一般管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	映像事業	スポーツ・ レジャー事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,484,931	1,262,616	2,059,788	6,807,336	332,092	7,139,428	—	7,139,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	13,304	13,304	217,565	230,869	△230,869	—
計	3,484,931	1,262,616	2,073,093	6,820,640	549,657	7,370,298	△230,869	7,139,428
セグメント利益	43,743	20,829	355,768	420,340	14,124	434,465	△230,285	204,179

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業、アミューズメント事業、ランキン事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△230,285千円には、セグメント間取引消去△67千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△230,217千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の一般管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。